



EU Risk Assessment – timing and outlook 欧州リスクアセスメント – スケジュール

- 6月30日 : 川下ユーザーからIAOIAコンサルタントへの暴露・排出データの報告期限
- 6月、9月 : TC NES II、III : 科学研究期間の延長のため、KemIがATOを議題から削除。
- 10月23-24日 : 日本で次回IAOIA会議
- 12月4-7日 : 環境影響評価資料についてのTC NESIVでの最終討議機会? ヒトの健康についての新報告書の討議?
- 12月12-14日 : PET2006コンファレンス (アムステルダム)
- 2007年4月 : REACH施行計画

30 June Deadline for Downstream Users to Report to IAOIA Exposure and Emission Data

6月30日が川下ユーザーからIAOIAへの暴露・排出データの報告期限

ATOを使用する職場での環境排出・暴露に関するデータギャップが依然残っている。EUリスクアセスメントのためには、6月末までにデータギャップが埋められなければならない。PETでの経験（高リスクからリスクなしに変更）に基づけば、間違っただけのデータが使用されて実在しないリスクが証明されることを避けるためには、データ収集を実施する価値は十分にある。一例として現行のRA報告書では、バックコート調合難燃剤製造工場、塗料顔料工場、セラミック顔料工場、エンブレコンパウンド工場などの労働者は理論上25-50mg/Sb/m³暴露されていると推定される。これはOEL（作業環境暴露限界値）の100倍に相当する。

IAOIAは1月から4月にかけて、Petkonsept (Mike Neal) と協力してATOを年間125トン以上使用する顧客と連絡を取った。この125トンは、KemIが環境リスクとして定義した閾値である。いくつかの川下ユーザーが特定され、アンケートへの回答が依頼された結果、環境リスクに関する11件の有益な回答が得られた。一方、ヒトの健康に関しては閾値が設定されていない。それは小規模の会社は大規模の会社に比べて、個人防護具や換気装置を十分に整備していない傾向があり、その結果、小規模の会社の労働者はより高い暴露の可能性があると推測されるからだ。このため、ATOの使用量にかかわらずすべての会社と連絡を取り、ヒトの健康に関するアンケートに回答してもらう必要がある。

5月中旬からIAOIAは、大手コンサルティングのAMI (Applied Market Information) と協力して、環境とヒトの健康に関する新たなデータを収集している。AMIはこのプロジェクトに複数の人員を配置して、ヨーロッパの顧客に環境とヒトの健康に関するアンケートへの回答を呼びかけている。顧客に対して、その国の言語で対応している。

我々はすべての川下ユーザーから実測データ（環境へのSbの排出と職場のSb空気中濃度）を収集することを避けるために、異なる川下ユーザー分野でのATOの取扱方法の共通点を特定することを狙っている。IAOIAはすでに、ATOの生産工場とPET産業での取扱方法について詳細な評価結果を得ている。EUリスクアセスメント当局は、仮にある産業界が我々のユーザー分野（ATOの場合にはPET）からの暴露および/または環境排出を、他の分野と同等であることを証明することができれば、同一の結論（すなわち、リスクは特定されず）が導き出せることを認めている。そうすれば、その他の分野では、実際の排出測定を伴う大規模なプログラムを行わなくてもよいことになる。

従って、生産工程の説明（ATOはどのように工程に投入されるのか—閉鎖システムなのか開放システムなのか、粉体なのかウェット状あるいは顆粒状なのか・・・）についての情報を得ることは非常に重要である。さらに我々は、次のような一般的な情報を収集する必要がある：ATOに暴露している労働者数、シフト毎のATO取扱量、使用されるATOの形状

（粉体、ウェット状、粒径・・・）。1日当たり/年間当たりの排出量、大気汚染防止設備の有無。

これらは我々の川下ユーザー向けアンケートの質問内容である。我々のコンサルタントは回答結果の評価に先立って、それぞれの川下用途から生産施設を1ヵ所ずつ選定して実地調査を行う。我々の調査範囲がEUの川下ユーザーを代表しているとみなされるように、我々は十分な回答内容を得ることを目指している。

我々はできるだけ多くのユーザーの特定と連絡に務めてきた。貴社がATOのユーザー（PET用途以外）で、このデータ収集プロジェクトでAIMから連絡を受けていないならば、あるいはこのデータ収集プロジェクトに関して質問があるならば、どうかIAOIA事務局長であるKarine Van de Veldeにご連絡下さい (kvdv@iaoia.be or +32 32 97 60 92)。

貴社のご協力に感謝します！

我々は貴社の業界が不当なリスクを負わされることを防ぐために、貴社が行動を起こすことを期待しています。

EU Risk Assessment – No R52/53 ENV Classification and Labelling for ATO needed EUリスクアセスメント – ATOに環境分類R52/53とラベリングの必要なし

我々は2002年10月付ニューズレターで、ATOが環境毒性に関してラベリングの必要がないと報告した。しかしながら、KemIは2004年7月付の環境リスクアセスメント報告書第1次ドラフトで環境毒性R51/53分類を提案し議論を蒸し返した。次の2005年10月付RARドラフトでは、KemIはすべての環境毒性なし分類又はR52/53分類の2つの選択肢を提案した。

4月26日、アロナ（イタリア）で開催された環境分類とラベリングの会議で、ATOは議題として取り上げられた。ATOの環境毒性R52/53分類の可能性について、すべてのEU加盟国が議論した。R52/53は「水生生物に対して有害で、水生環境に対して長期にわたる悪影響を及ぼすかもしれない」と定義される。イタリア、ベルギー、オランダはこの会議に出席しておらず、議論に参加したのはスペイン、デンマーク、フィンランド、フランス、イギリス、アイスランドであった。

4月26日のこの会議で加盟国は、「三酸化アンチモンはR52/53に分類される必要はなく、従って環境毒性分類の必要はなくラベリングも要求されない」との決定を下した。

ATOは引き続き環境毒性に分類されないことになった。このことが今やすべての加盟国によって公式に受け入れられた。

EU Risk Assessment – positive outcome of the bilateral meeting with the Swedish Rapporteur スウェーデン担当当局との二者協議で肯定的な成果

2006年4月付ニューズレターで報告したように、産業界は4月28日、スウェーデン担当当局（KemI）と二者協議を行った。この会議は非常に建設的であり、多くの項目が議論された。KemIは我々が4月1日付で送付したコメント（COM415_HH_IND5）の多くを受け入れ、その他の指摘事項についても再検討することを約束した。

産業界と担当当局がもっと多くの情報交換と対話をする必要性についても合意された。新たなRARドラフトについても、TC NESでの議論に先立って産業界との二者協議が行われる予定である。

ATOは6月のTC NES会議では議題とならず、またKemIはヒトの健康についての議論を12月に延期したいと要請した。環境についても9月には議論されず、同様に12月に行われる予定である。従って、産業界は川下ユーザーのデータ収集プロジェクトの結果について担当当局と議論する機会をもつことになる。

我々はこのすべての情報が新たなRARドラフトにどのように集約されていくか見守ってゆく所存である。

Updated List of IAOIA Members: 最新のIAOIAメンバーリスト IAOIAメンバーの最新リストは、www.iaoia.org で閲覧可能

これらの企業は、アンチモン製品市場を守るために、政府機関への適切な対応及び信頼出来るデータの開発や提供などの活動に奮闘しています。活動費用や人的貢献はこれらの企業が分担しています。貴社は、これらの企業をビジネス相手として選択することによって、我々の業界を支援することになります。貴社がアンチモン製品の生産者、流通業者、消費者であり、こうした取り組みに貢献する意志があるならば、IAOIA、日本鉱業協会、中国五鉱化工進出口商会または会員企業にコンタクトして頂きたい。

Organisation of IAOIA IAOIA 組織

役職	氏名	e-mail アドレス	電話番号
議長	Dave Sanders	david.sanders@chemtura.com	+ 1 765/497 6319
副議長	Geert Krekel	geert.krekel@campine.be	+ 32 14 601 549
経理	Gilles Ozoux	gozoux@pcdlucette.com	+ 33 (0) 243012310
事務局長	Karine Van de Velde	Karine.vandevelde@campine.be	+ 32 14 601 578
日本鉱業協会アンチモン環境安全対策協議会議長	町田博治	machida@nihonseiko.co.jp	+ 81 3 3235 0031
中国五鉱進出口商会	Huang Chongbiao	huangcb@minmetals.com	+ 861068495302